



# 帯広東ロータリー・クラブ会報

[2013-2014年度]

会長/梶川 融 幹事/高田 進 会報編集 メディア委員長/大塚 正昭

■創立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例会日：毎週火曜日 12:30~13:30

■事務局：〒080-0013 北海道帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4 F Tel.(0155)25-7347 ■例会場所：帯広ワシントンホテル Tel.(0155)23-5111

創立30周年記念日まで あと152日 創立30周年記念実行委員

## 第1411回例会 (2014年1月14日ⓧ 於帯広ワシントンホテル)

- ◎起 立 西藤 S A A
- ◎友情の握手 西藤 S A A
- ◎点 鐘 梶川 会 長
- ◎開会宣言 西藤 S A A

### ロータリーソング

我等の生業  
四つのテスト



### 会務報告

高田幹事

- ①帯広東R C  
2月11日(火)は祝日のため休会と致します。
- ②帯広5R C・芽室R C・音更R C合同例会開催のご案内



日時 平成26年2月12日(水)午後0時15分  
11時45分より会食

場所 ホテル日航ノースランド帯広

講師 (有)ゴーアヘッドジャパン取締役 小田島祐一 様  
\*帯広東R Cは2月18日(火)の繰り上げ例会と致します。

### ゲスト紹介

梶川会長

アークコーポレーション(株)統括部長  
和田 哲也 様

### 会長挨拶

梶川会長

例年になく小雪状態で除雪等が少なく体が楽ですが、冬のスポーツの代表であるスキーを楽しむ方にとっては残念な状況です。やはり年間の降水量、降雪量を考えると、その時期に応じた雨、雪が降ったほうが、良いのではないかと考えますが皆さんはどうでしょう？



「ロータリーの友」の記事から宇都宮ロータアクトクラブによる自転車のサイクリングと、地域活性化の取り組みが掲載されていました。自転車のまち宇都宮を推進するため毎年自転車競技、サイクリング等が行われており、その推進者として参加しているとの事です。私自身も昨年から久し振りに自転車に乗りましたが、健康にもいいと感じています。

「ロータリーの友」の記事から宇都宮ロータアクトクラブによる自転車のサイクリングと、地域活性化の取り組みが掲載されていました。自転車のまち宇都宮を推進するため毎年自転車競技、サイクリング等が行われており、その推進者として参加しているとの事です。私自身も昨年から久し振りに自転車に乗りましたが、健康にもいいと感じています。

### 委員会報告

庄内米山奨学記念委員長

19回目の米山功労クラブと成り感謝状を頂くことになりました。皆様のご寄付に感謝申し上げます。



### ニコニコ献金

佐藤(基)親睦委員

- 梶川会長 天気に感謝します。
- 高田幹事 誕生日に記念品を頂きありがとうございます。
- 上野会員 今年最初の出席です。宜しくお願いします。
- 吉村会員 新年交礼会で2位を頂きましたので、ニコニコします。
- 宮前会員 今年初めての出席です、今年も宜しくお願い致します。1/6~1/9までインカレがあり、すべての競技で大会新記録が出ました。リレーでは日本新記録



も出ました。

- **加藤(昭) 会員** 本日のゲスト卓話はプログラム委員長  
の担当です。今後の活動の方向付けになれば幸いです。
- **西田会員** 新年交礼会で商品券を頂きました。
- **城戸親睦委員長** 先週の新年交礼会、多数のご参加を  
頂きありがとうございます。また、沢山のニコニコ  
献金をして頂き心より感謝申し上げます。

## 出席報告

加藤(昭)出席委員長

12月出席率 80.4%  
1/14 出席者19名



## プログラム

出席・プログラム委員会

### 【花火の見える丘】

～市民と十勝川中流部河川づくり構想～



アークコーポレーション(株)統括部長

和田 哲也 様

東クラブの皆さんには二度目の出会いとなりますが、  
今回は「十勝川中流部川づくりワークショップ」について  
お話をします。これは、今後30年間十勝川が洪水、氾濫  
のない河川整備をどのようにするかを、地域住民、市民

団体、観光業者、河川管理者、建設業者を網羅し、川づ  
くりに係わる意見や要望を市民協働会議の形でまとめ、  
その後の事業実施に自ら関わり、川づくり案に沿ってい  
るか確認し、問題点が生じた場合、課題を検討し、改善  
点の提案をおこなうサイクル型河川管理を目指すもので  
ある。

参加者の皆さんも、反対の為の反対意見ではなく、今  
後の河川管理に自ら係わるという事を念頭に置き議論を  
積み重ね本年度より一部事業が始まります。

また、一般市民として帯広工業高校環境土木科120名、  
帯広農業高校農業クラブ20名、草地復元クラブ20名都合  
160名の高校生参加があり、生物との共存をテーマに  
平面図案の作成。帯広工業高校は十勝大橋上流側、帯広  
農業高校は十勝大橋下流側に分かれ周囲一帯の植生や生  
態系を生かした環境整備、治水計画を考え「人と生物と  
が共存できる場所」「人が出会う里地」「十勝川花火大会の  
見やすい丘」等のコンセプトのもと具体的な植生を配置  
した平面図が作成され、関わった高校生たちも、自分た  
ちが考えたものが地図に載るかもしれないという事で期  
待をしていました。

来年度は作業の一部が始まり伐採の必要なところ、整  
地などは開発局、建設業者が行い測量の大元も開発、建  
設業者で行い、植栽、植生ゾーンの設定測量は高校生の  
実習として行います。原生花園ゾーンは種子を原生花園  
で採種、播種する他、山菜の植栽は農業高校の敷地内で  
採種、移植を行う計画です。

これらの事に一般市民、大人がどのようなお手伝い、  
関わりを持っていけるかが注目されるかと思えます。い  
ずれにしても息の長い計画ですので、多くの方の関わり  
が必要になるかと思っています。

◎閉会宣言

西藤 S A A

## 次週プログラム予定

1月21日(火)「会員卓話」

国際奉仕・ロータリー財団委員会 鎌田 勉 委員長